

## 令和8年4月27日05時24分頃の十勝地方南部の地震について

震度 5 強	十勝地方	落石や崖崩れなどの危険 今後の地震や雨に十分注意
震度 5 弱	日高地方	落石や崖崩れなどに注意

# 震度5強を観測

## 震度5強 北海道

(揺れの強かった地域)

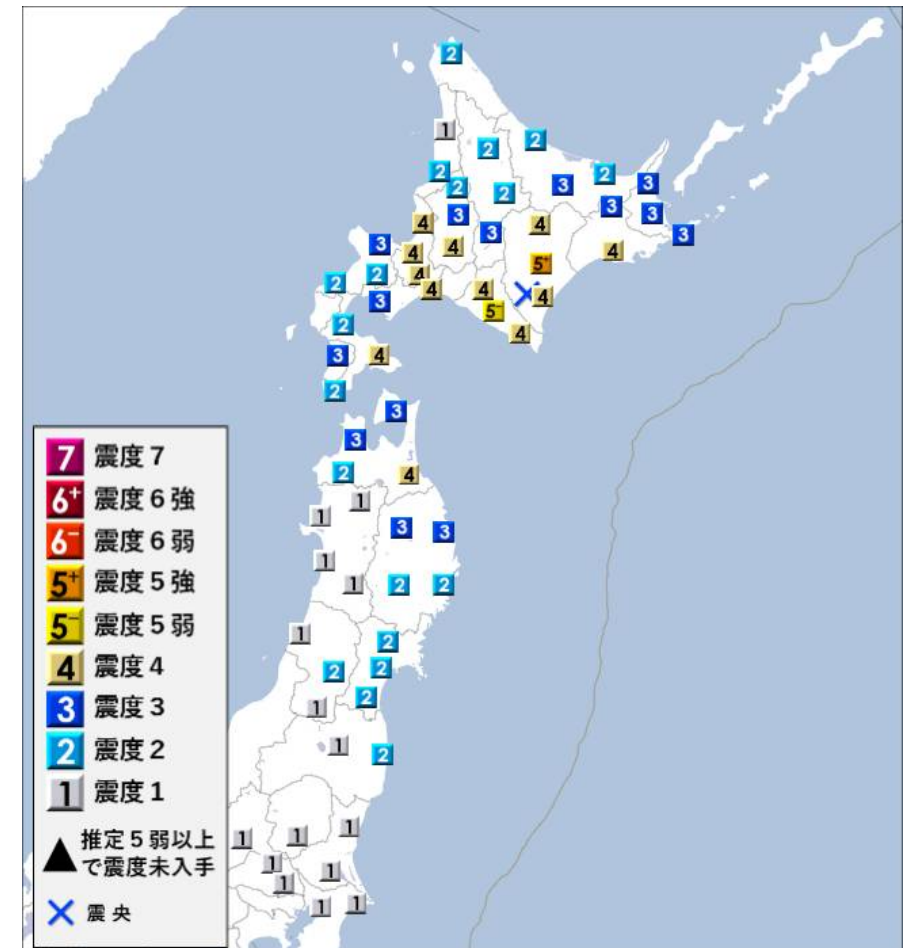
落石や崖崩れなどの危険

今後の地震や雨に十分注意

※1週間程度(特に今後2~3日の間)

最大震度5強程度の地震に注意

4月27日05時29分発表



# 地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	4月27日05時24分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	4月27日05時23分
マグニチュード	6.2(暫定値;速報値の6.1から更新)
発生場所	十勝地方南部 深さ 83km(暫定値;速報値 深さ約 80kmから更新)
発震機構	北北東—南南西方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震
震度	【最大震度5強】北海道の浦幌町(うらほろちょう)で震度5強を観測したほか、北海道・東北地方・関東地方で震度5弱～1を観測
地震活動の状況 27日07時00分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震の発生なし
長周期地震動の観測状況	石狩地方北部、石狩地方南部、上川地方南部、北見地方、胆振地方中東部、日高地方中部、日高地方東部、十勝地方中部で長周期地震動階級1を観測

# 防災上の留意事項と今後の見通し

## (防災上の留意事項)

この地震による津波の心配はありません。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意してください。

## (今後の地震活動の見通し)

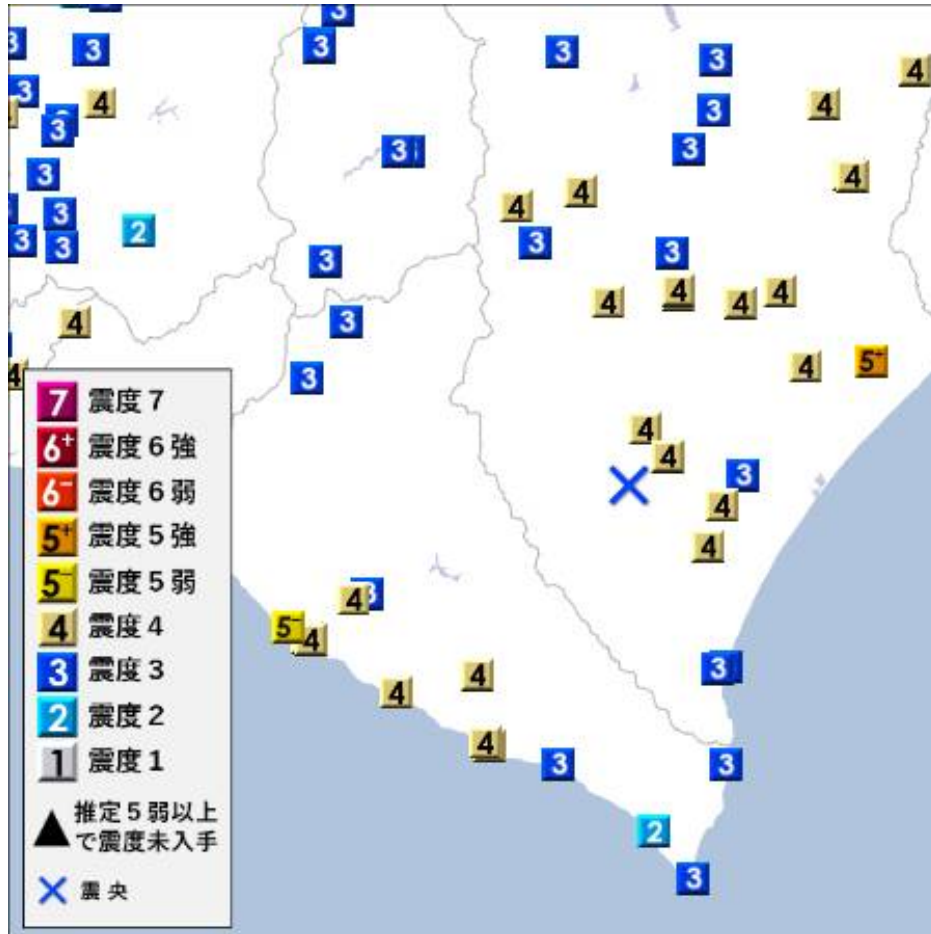
過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5強程度の地震に注意してください。特に今後2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

## (今回の地震と北海道・三陸沖後発地震注意情報との関係)

今回の地震は、北海道・三陸沖後発地震注意情報で注意を呼び掛けている対象地震ではなく、北海道・三陸沖後発地震注意情報の発表基準に該当する地震でもありません。

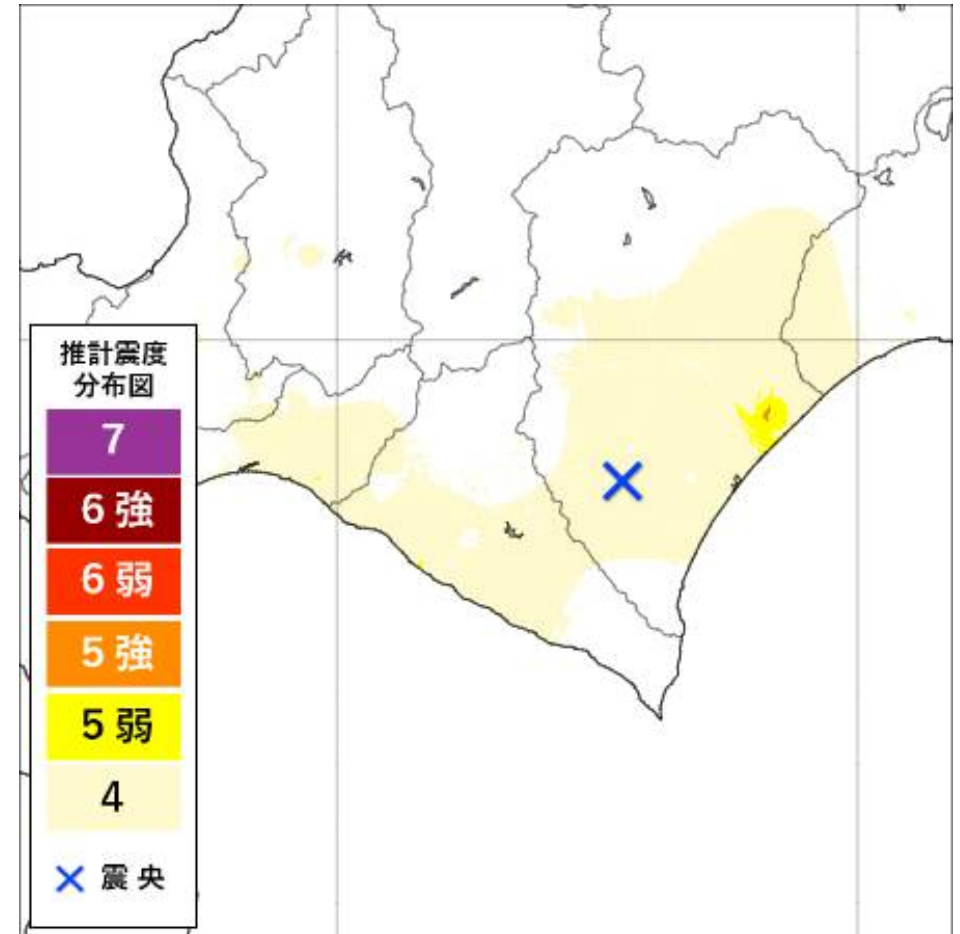
# 震度分布図・推計震度分布図

【各観測点の震度】



4月27日05時29分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

地震情報:[https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake\\_map](https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map)

推計震度分布図:[https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated\\_intensity\\_map](https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map)

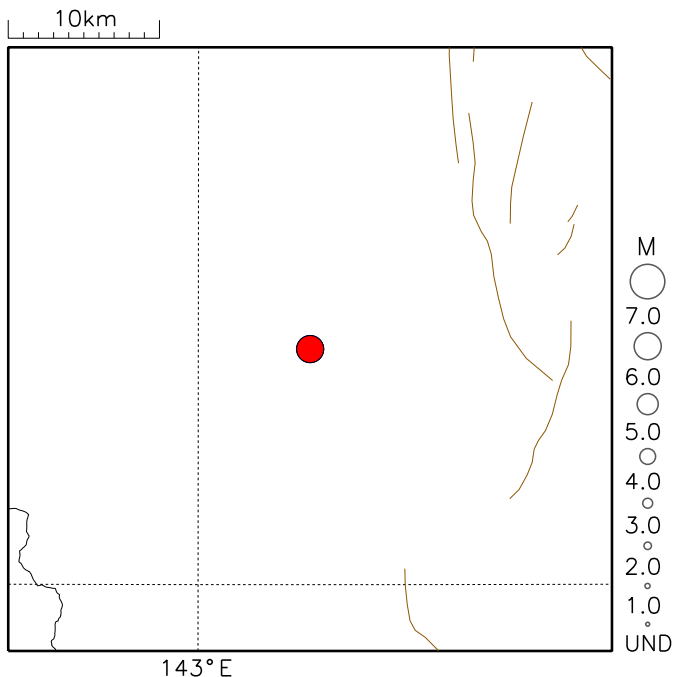
# 今回の地震活動

## 震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ50 -- 700km、 M 全て

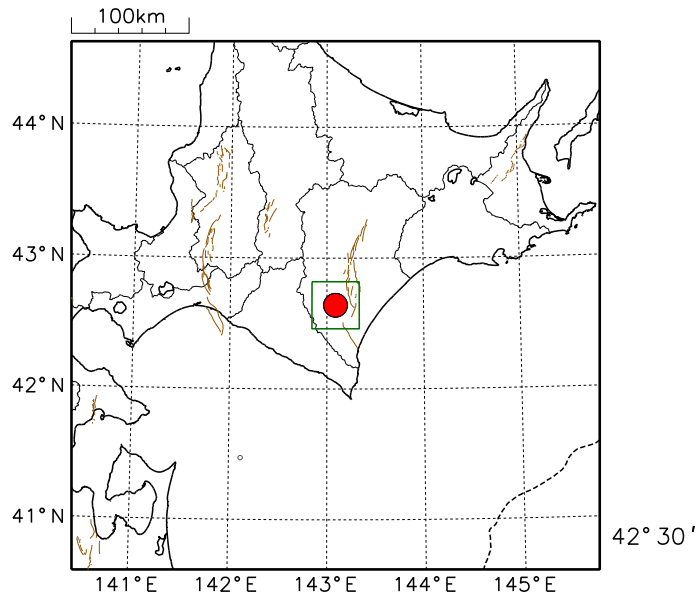
2026 04 27 03:00 -- 2026 04 27 06:30



## 震央分布図（広域図）

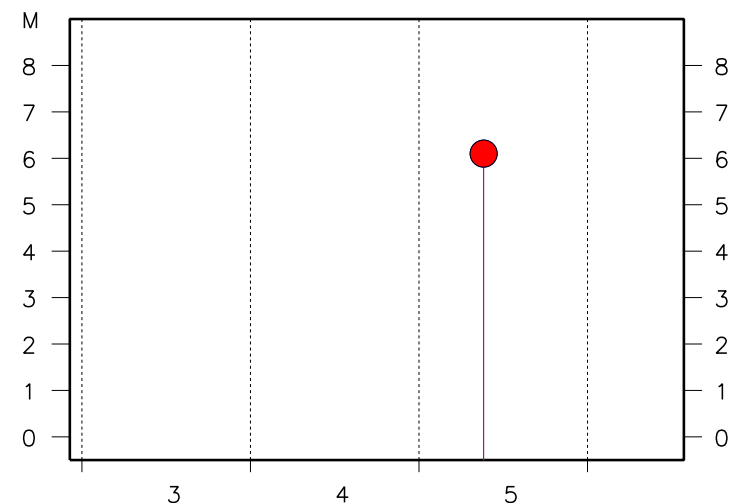
深さ50 -- 700km、 M 全て

2026 04 27 03:00 -- 2026 04 27 06:30



## 震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2026 04 27 03:00 -- 2026 04 27 06:30



(震源の色について)赤色：今回の地震 青色：今回の地震より後に発生した地震 灰色：今回の地震より前に発生した地震

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

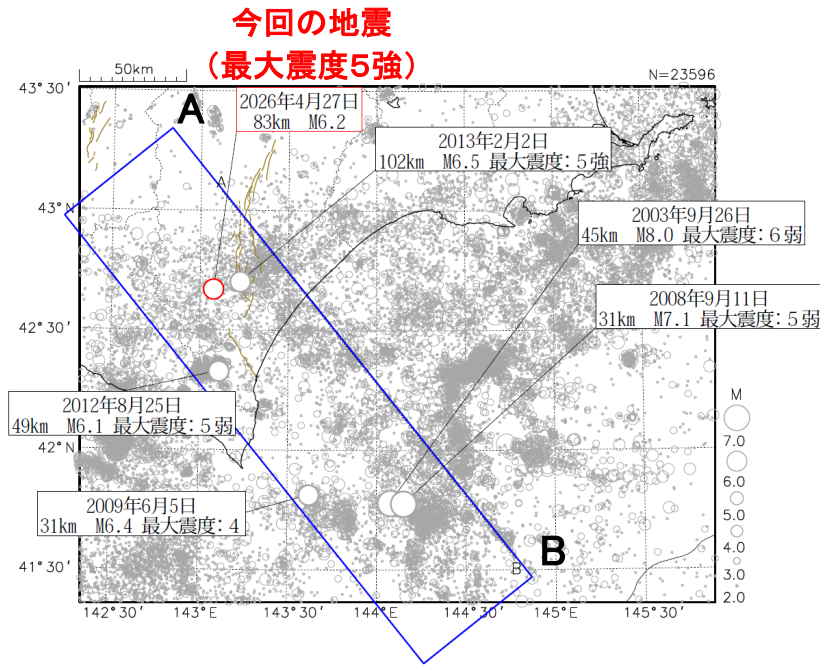
### <資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

# 令和8年4月27日 十勝地方南部の地震 (発生場所の詳細)

## 震央分布図

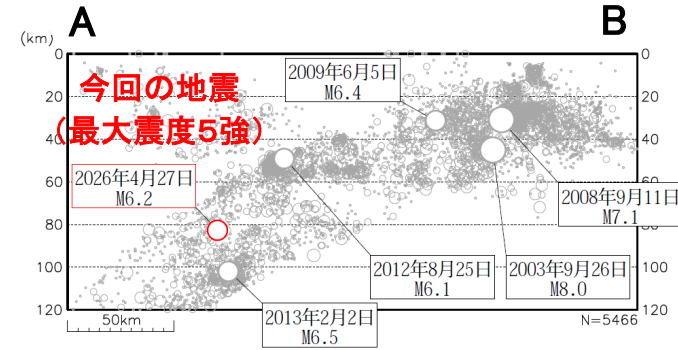
(1997年10月1日～2026年4月27日05時25分  
、深さ0～120km、M2.0以上)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

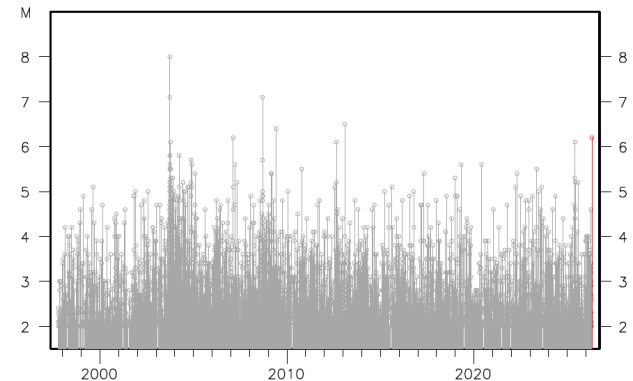
今回の地震を赤色で表示

## 左図の四角形領域内のA-B断面図



縦軸は深さを表し、丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

## 左図の四角形領域内の地震活動経過図

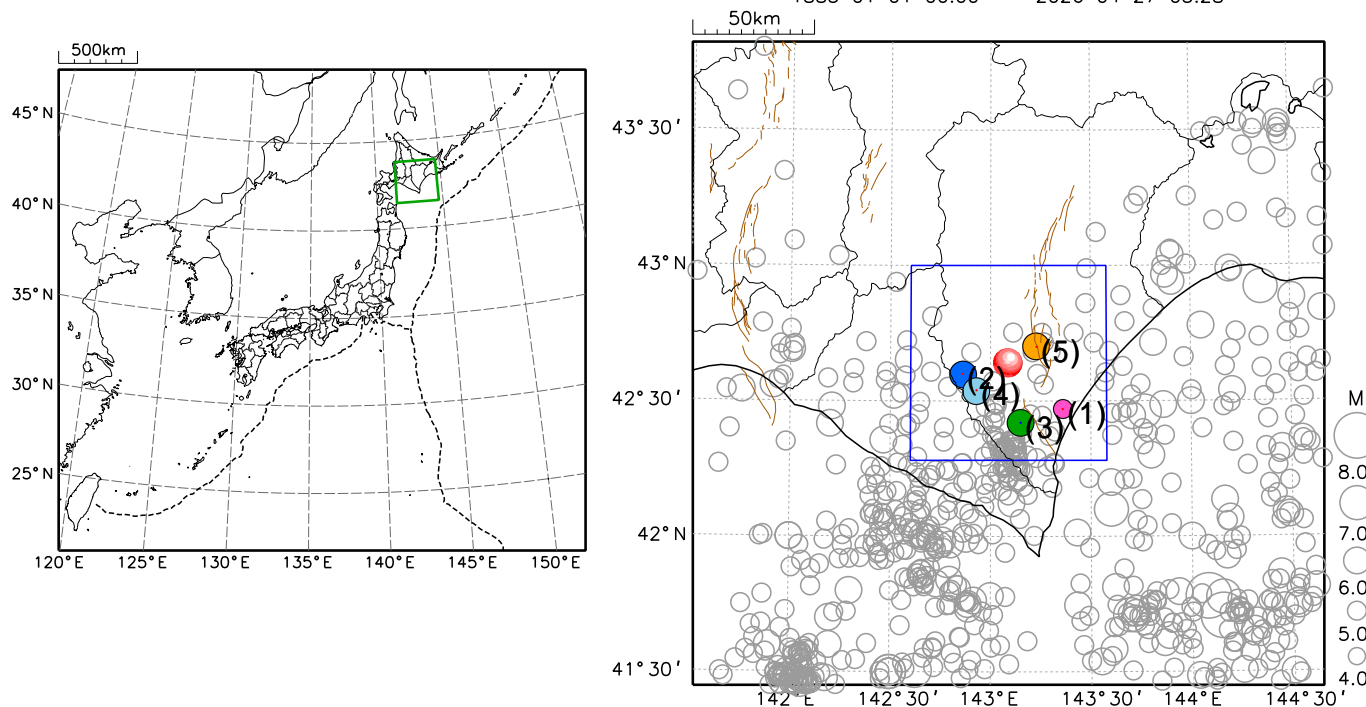


横軸は時間、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発  
生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

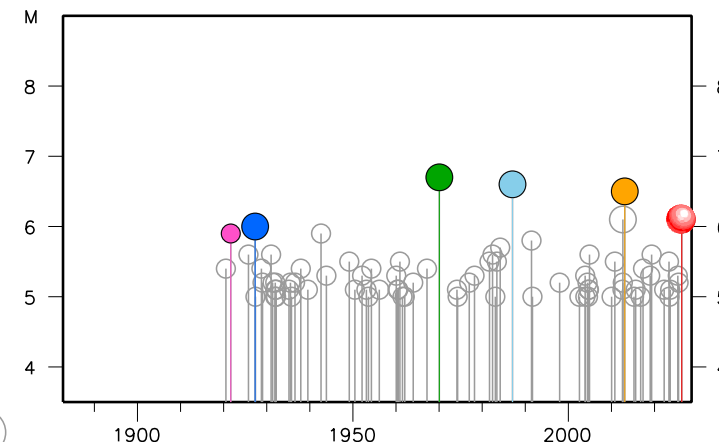
# 今回の地震周辺の過去の主な地震活動

## 震央分布図

M 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km  
今回の地震を赤く表示  
1885 01 01 00:00 -- 2026 04 27 05:28



## 震央分布図の青色矩形内のM-T図



## 過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応  
桃：(1)，青：(2)，緑：(3)，水：(4)，黄：(5)

(1) 1921年8月28日 M:5.9 十勝地方南部

(2) 1927年4月22日 M:6.0 十勝地方南部

(3) 1970年1月21日 M:6.7 十勝地方南部

(4) 1987年1月14日 M:6.6 十勝地方南部

(5) 2013年2月2日 M:6.5 十勝地方南部

・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。

・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。

<地震の名称について>

・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。

・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。

名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。

・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。

名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

<資料の利用上の注意点>

・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。

・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。

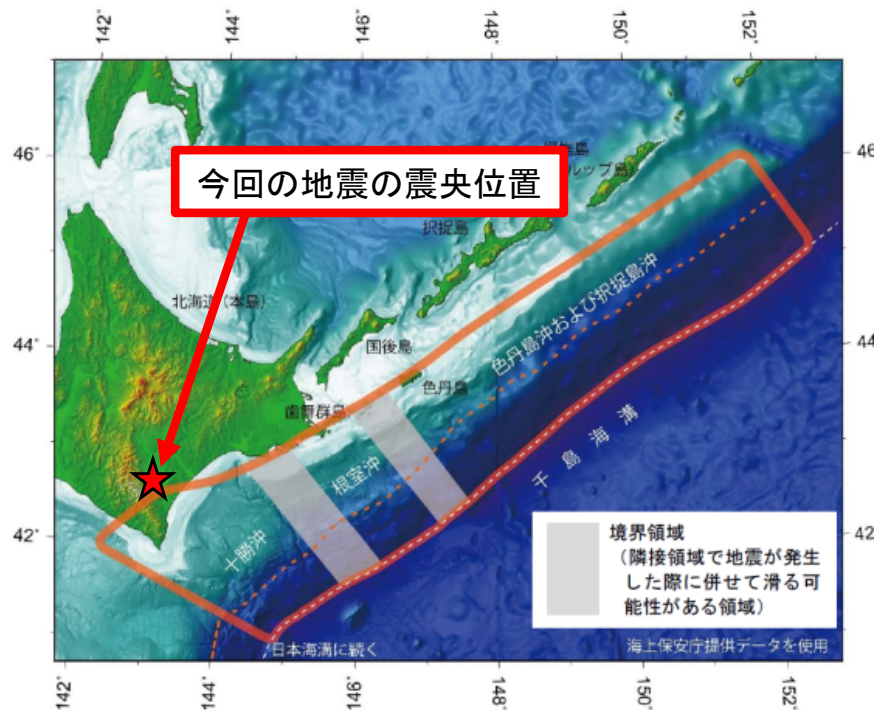
・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（ ）が異なる場合がある。

検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。

この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。

一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

●千島海溝沿いの海溝型地震の想定領域(注1)



赤枠はプレート間地震に関する評価対象領域で、プレート内地震は赤枠外で発生した地震も評価対象。赤い点線は、海溝寄りの領域を分ける線。

●海溝型地震の長期評価の概要(千島海溝沿い)(注1)

評価対象地震	発生領域	規模	ランク(注2)	平均発生間隔
超巨大地震 (17世紀型)	十勝沖から択捉島沖 (根室沖を含む可能性高い)	M8.8程度以上	Ⅲ * ランク	約340年~380年
プレート間 巨大地震	十勝沖	M8.0~8.6程度	Ⅱ ランク	80.3年
	根室沖	M7.8~8.5程度	Ⅲ * ランク	65.1年
	色丹島沖及び択捉島沖	M7.7~8.5前後	Ⅲ ランク	35.5年
ひとまわり小さい プレート間地震	十勝沖・根室沖	M7.0~7.5程度	Ⅲ ランク	20.5年
	色丹島沖及び択捉島沖	M7.5程度	Ⅲ ランク	13.7年
海溝寄りの プレート間地震 (津波地震等)	十勝沖から択捉島沖の海溝寄り	Mt8.0程度	Ⅲ ランク	39.0年
沈み込んだ プレート内の地震	やや浅い領域(深さ50km程度)	M8.4前後	Ⅲ ランク	88.9年
	やや深い領域(深さ100km程度)	M7.8程度	Ⅲ ランク	39.0年
海溝軸外側の地震	千島海溝の海溝軸外側	M8.2前後	Xランク(注3)	—

●海域で発生した規模の大きな地震後に見られた地震活動の例

過去には、2008年の茨城県沖の地震のように、大きな地震の発生後、より大きな地震が発生し、当初の活動域が広がった例もあります。しかし、2004年の釧路沖の地震のように、より大きな地震は発生せず、地震活動域が広がらなかった例もあります。

(注1) 2017年12月19日公表の「千島海溝沿いの地震活動の長期評価(第三版)」より引用。

(注2) 海溝型地震における今後30年以内の地震発生確率が26%以上を「Ⅲランク」、3%~26%未満を「Ⅱランク」、3%未満を「Ⅰランク」、不明(すぐに地震が起きることを否定できない)を「Xランク」と表記しています。ランクに「\*」を付記している場合は、地震後経過率が0.7以上を表しています。

(注3) 海溝軸外側の地震については、過去に発生した履歴が無く、確率は不明です。しかし、評価対象領域の北東側では2007年にM8.2(Mw8.1)が、隣接する日本海溝沿いの領域では1933年にM8.1(Mw8.4)の地震(昭和三陸地震)が発生しているため、同様の規模の地震が千島海溝でも発生する可能性があります。

※本資料は以下を基に作成しました。

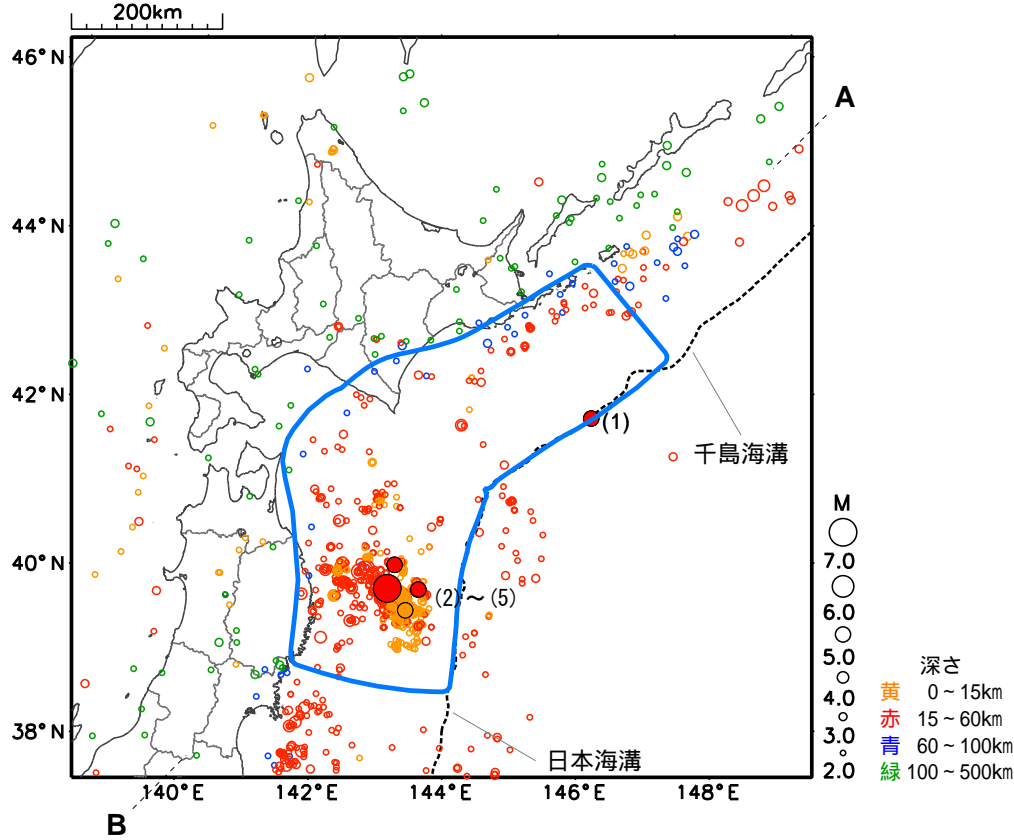
「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」(地震調査研究推進本部) <https://www.jishin.go.jp/main/choukihyoka/ichiran.pdf>

「千島海溝沿いの地震活動の長期評価(第三版)」(地震調査研究推進本部) [https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou\\_pdf/chishima3.pdf](https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/chishima3.pdf)

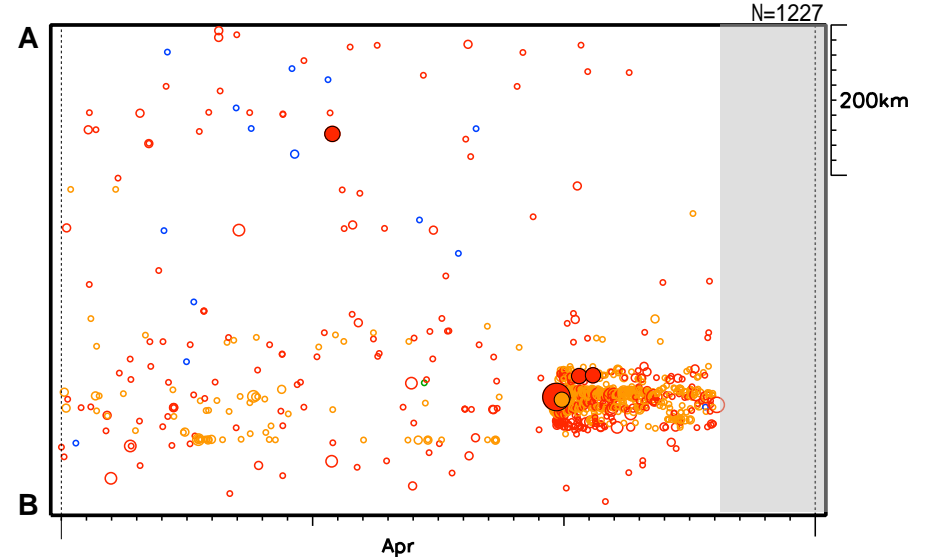
# 最近の千島海溝・日本海溝周辺の地震活動

2026年4月1日～4月26日

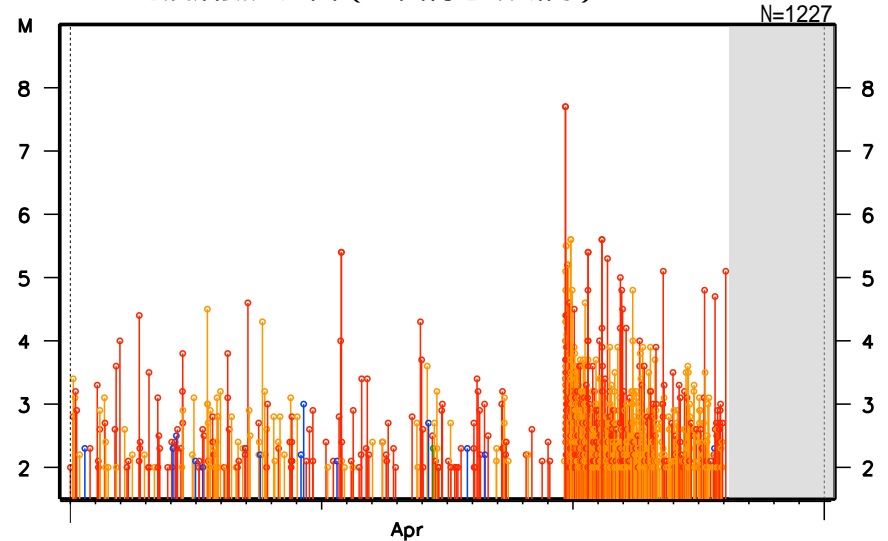
震央分布図 (2026年4月1日～4月26日、M 2.0、深さ0～500km)



時空間分布図 (左図青色領域内: A-B投影)



地震活動経過図 (左図青色領域内)



青の実線は千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうち「十勝・根室沖」及び「日高・三陸沖」の領域です。震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

## [主な地震活動]

- ・ 上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震 (最大5つ)
- ・ 近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載
- ・ 2026年4月26日の震源データは未精査

- (1) 04月11日 18時49分 M5.4 最大震度2 釧路沖
- (2) 04月20日 16時52分 M7.7 最大震度5強 三陸沖
- (3) 04月20日 21時56分 M5.6 最大震度3 三陸沖
- (4) 04月21日 14時29分 M5.4 最大震度1 三陸沖
- (5) 04月22日 03時44分 M5.6 最大震度2 三陸沖

# 発表した情報などについて

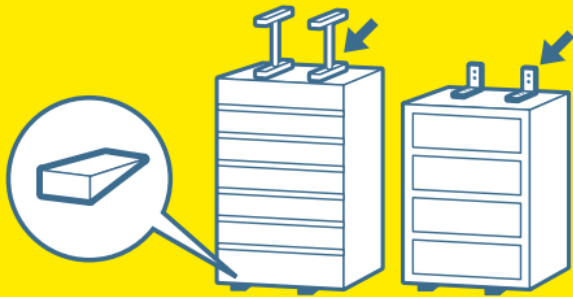
- 津波警報等の発表状況  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>
- 津波の観測状況  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>
- 潮位観測情報  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>
- 地震情報  
[https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake\\_map](https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map)
- 推計震度分布図  
[https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated\\_intensity\\_map](https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map)
- 長周期地震動に関する観測情報  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>
- 緊急地震速報の発表状況  
[https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub\\_hist/index.html](https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html)
- 発震機構解  
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>
- 震央分布  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>
- 地震から身を守るために  
[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/jishin\\_bosai/index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/jishin_bosai/index.html)
- 津波から身を守るために  
[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/tsunami\\_bosai/index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/tsunami_bosai/index.html)
- 気象庁防災情報X(旧Twitter)  
[https://x.com/JMA\\_bousai](https://x.com/JMA_bousai)



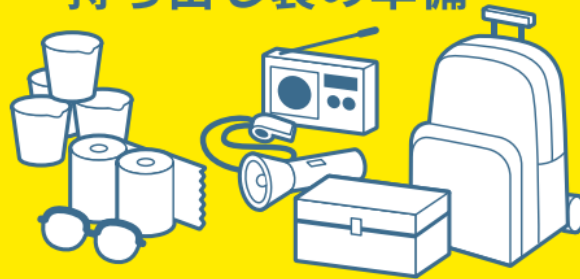
# 日頃からの地震への備え

日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありませんので、日頃からの地震への備えを心がけてください。

## □ 家具の固定



## □ 非常用 持ち出し袋の準備



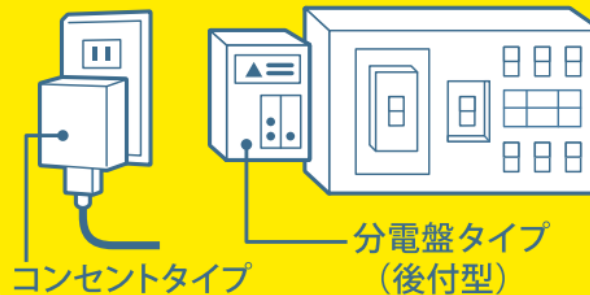
## □ 水や食料の備蓄



## □ 避難場所や 避難経路の確認



## □ 感震ブレーカーの設置



## □ 建物の耐震化



日頃からの備えについては、以下のページでもご確認いただけます。

地震から身を守るために：[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/jishin\\_bosai/index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/jishin_bosai/index.html)

津波から身を守るために：[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami\\_bosai/index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html)